

女性いきいき大賞 受賞団体をご紹介します!!

女性いきいき大賞とは…住みやすい地域社会づくりと、男女共同参画社会づくりを願って、コミュニティ活動やボランティア活動等に女性を中心となってチャレンジする団体を表彰し応援し、その活動が広まることを期待する賞です。

第2回 女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞団体

嘉川子育て支援連絡組織 “みらい”

所在地/山口市



●団体の紹介
子育て支援を目的に、地域の様々な組織が協力し手を結ぶことで、地域の連携を高めていく。

●現在の団体の活動
受賞して早や14年。受賞は、私たちの活動の基礎を固め、地域からの物心ともに手厚い協力と支援を受け、地域主体の活動へと広がっていきましました。実際に活動している見民協・母推・子育てサークル・スタッフチームがしっかりスクラムを組んで「しゅっぱぽ」(16年目)「ちびっこ大集合」(19年目)などを組んで「しゅっぱぽ」が継続され、市内初の「集いの広場」も各中学校に開設されています。嘉川地域は、若い家族の転入が増加してきています。「しゅっぱぽ」を親子の地域デビュー、友達作りの場として活用されています。「ちびっこ大集合」に参加した赤ちゃんたちが中学生になり地域のボランティアに加わるなど、子どもたちが成長していく姿を応援できる喜びを力に活動しています。

第1回 女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞団体

安岡ひまわりレディース

所在地/下関市

●団体の紹介
仲間づくりと親睦を深め、明るくのびのびと楽しく農業をしたいと結成。

●現在の団体の活動
「子どもたちに安全な野菜を食べさせたい」というお母さんの視点から、安心安全の野菜作りに取り組んでいます。有機質のもので作ったたい肥を入れた土づくりをはじめとして、農薬をできるだけ使わない、農業に頼らない方法に日々チャレンジしています。小松菜やはなっこりー、ねぎ、パセリなど様々な野菜を出荷しています。農場では、地元下関の親子を対象に枝豆やはなっこりー等の収穫体験を行い、手作りの紙芝居を使って、出荷や生産の苦労などの話を聞いてもらい食育活動にも生かしています。これからも、多くの人たちに野菜のおいしさを実感してほしいです。



第15回 女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞団体

.Style (ドットスタイル)

所在地/山口市

●団体の紹介
点在するひとり親家庭の居場所づくり、ひとつの自立した家庭として生活できるようお手伝いしている。



●現在の団体の活動
大賞受賞のニュースを見た方から「女性としての喜び」「自己肯定感」これらをテーマに有意義に使用してほしいと、寄付金を私たちに託してくださいました。すぐ頭に浮かんだのが「生理の貧困」でした。それからスタッフ一同「生理の貧困」について学び、生理用品の配布と女性相談の場を県内各地で開催しています。コロナ禍で収入が減り生理用品が購入できない方、父子家庭で父親に言えず苦労した方、娘の生理との向き合い方に悩む父子家庭の父。様々な声を聞いています。受賞を機に、新たな活動の場ができたことに心から感謝しています。信頼を大切に、今後も社会の声に耳を傾け、謙虚に学び、活動を続けてまいります。

ボランティア・NPO活動を がんばって いるみなさん 応援します!!

第16回 女性いきいき大賞募集

地域の活性化をめざすいきいき活動団体を支援します

県民すべてを対象(活動3年以上)

表彰 最優秀賞、優秀賞、
コープやまぐち奨励賞、
コープやまぐち奨励賞・学生の部

《副賞として》30~10万円

応募資格

- 山口県内で自主的な活動を行い、創意と工夫に富んだ活動を対象とします。
- 健康、文化、環境、省エネ、リサイクル、食の安心・安全など
- 福祉 高齢者福祉、介護福祉、障害者福祉など
- 子育て 子育て支援、教育、子どもの安全、母子保健、食育など
- 地域づくり 街づくり、村おこし、地産地消、農業、伝統文化、平和など
- 3年以上の活動経験を持ち、5名以上のメンバーで構成され、代表者が女性もしくは運営の中心メンバーが女性である団体であること。
- 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体であること。
- 過去受賞団体の再チャレンジも歓迎します。

申し込み方法 ホームページ (<https://www.yamaguti-coop.or.jp>) から応募要項をダウンロードして提出されるか、女性いきいき大賞事務局(083-995-3607)にお電話を。お問合せもお気軽にどうぞ。

応募〆切 9/30(木) 当日消印有効

第14回 女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞団体

NPO法人やまぐちレーテ

子育てBambini

所在地/山口市

●団体の紹介
15年間子育て支援グループとして、地域の子育て支援活動を行ってきた。2018年NPO法人を設立。

●現在の団体の活動
受賞をきっかけに、県内の多くの方に、私たちの団体の存在と活動を広く知っていただくことができました。2020年、深刻化するコロナ禍では、多くの出番を必要とされました。緊急事態宣言の中、地域子育て支援拠点や放課後児童クラブの運営と並行して、県内の医療機関を含む大学や企業内での運営と並行して、県内の医療従事者のみなさんを始め、社会の最前線で働く方々のお子さんをお預かりし、保護者が安心してお仕事に専念できるよう、一緒に頑張ることができたことは大きな成果でした。この困難な社会状況の中、この困難な社会状況の中、だからこそ、そこに暮らす人々の幸せと笑顔あふれる楽しい地域づくりをめざして、私たちができることを工夫しながら柔軟性を持って、地道な活動を続けていきます。



第13回 女性いきいき大賞 最優秀賞 受賞団体

高齢社会をよくする 下関女性の会(ホーモイ)

所在地/下関市

●団体の紹介
「幸せな高齢化社会の創造」をめざし、学びと実践を両輪として活動。子どもの貧困を問題と捉え、子ども食堂を設立運営。

●現在の団体の活動
コロナ禍で一部の活動を休止するも工夫しながら様々な活動に取り組んでいます。

- 「介護予防のためのサロン」家庭で少しでも体を動かす参考になればと思い(サロン通信)を発行
- 「生野さらさら子ども食堂」小学校の校庭でおやじの会と協力して炊き出しを行ったり、クリスマスプレゼントや赤い羽根助成金で業者による弁当を配布
- 「市民福祉講座 老後の人生設計~介護を受けながら生きる~」では、施設見学・調査を継続し、現在は調査に向けての学習会を開催
- SDGs(持続可能な開発目標)についての学習会を開始。子ども食堂で使用している子どもたちにも啓発を図る。

コロナ禍で先が読めない日々が続きますが、できることをする方法で活動してまいります。



